

令和7年度 第5回青森県特別支援学校総合スポーツ大会

「フットソフトボール競技」実施要項

1 日 時 令和7年7月10日(木)
開会式 10:00~10:15
競技開始 10:30~

2 会 場 新青森県総合運動公園 多目的広場 (荒天時中止)

3 監督会議 9:50~

4 競技方法

- (1) 攻守の決定は、監督及び主将立会いのもと、球審のコインのトスによる。
- (2) 3回または、試合開始から30分が経過したイニングまで行うものとする。
(規則：7回または、試合開始から60分が経過した回まで)
※コールドゲームはなしとする。
※出場チーム数によっては、試合時間の変更があり得る。
- (3) 1イニングで、攻守の交代は、3アウトまたは、キッカーが1巡したときとする。
- (4) 投球は、投手板に両足を触れてキッカーに正対し、身体の前に両手でボールを持った状態で完全に停止しなければならない。この姿勢を2秒以上5秒以内持続した後、投球動作を始めなければならない。
- (5) 投手は、投手板に両足を触れてキッカーに正対し、股の下から両手で転がして投球しなければならない。
- (6) 攻撃は、打順表に記載した名前の順序によりキックを行う。
※競技ミーティング後に各チームで打順を決め、1番から番号順にビブスを付ける。
- (7) キッカーは、足でボールをけらなければならない。キッカーの軸足は、本塁を含むキッカー席内になければならない。
- (8) 同点の場合は、タイブレークにより試合を延長して行う。ただし、延長は1回とする。それでも同点の場合は、主催者が行う抽選方法で勝敗を決定する。なお、監督会議にて実施方法を確認する。

5 競技規則

2024年度版全国障害者スポーツ大会競技規則及び青森県特別支援学校総合スポーツ大会申し合わせ事項による。

(1) エントリー対象

- ・特別支援学校に在籍する中学部・高等部生徒とする。
- ・チームは男女混合可とする。
- ・チーム編成は、監督1名、コーチ1名、選手15名以下(出場プレーヤー9名、交代プレーヤー6名以内)とし、ベンチに入ることができる教職員は監督1名、コーチ1名の計2名までとする。ただし、支援が必要な生徒に対して(視覚障害者の伴走者や聴覚障害者への情報伝達のための支援者等)は、支援員として、生徒一人につき教員を一人つけてもよいこととする。この場合、支援員は監督及びコーチ以外の教員とし、ベンチ選手として数えない。
- ・各校で複数チームの参加を可とする。

(2) 競技場

- ・競技規則に掲載してある競技場より、下記の項目は必須とする。
各塁間の距離は15mとする。
投手板と本塁ベース間の距離は10mとする。

ピッチャーズサークルは投手板の前線の中心から半径1.5mの円とする。

キッカー席は、縦2.5m、横1.5mとする。

(3) 競技者の服装

動きやすい服装に専門部で準備したビブスを着用する。

(4) 試合球

試合球は、サッカーボール（ゴム製4号球）とする。視覚障害の生徒が試合を行う場合は、鈴入りゴムボール【モルテン：G2C2000-SK】を使用する。

(5) 組合せ

・原則、トーナメント戦で試合を行う。

・組合せは、令和7年5月27日（火）に主催者が代理抽選の上、決定する。

(6) 順位の決定と表彰

・トーナメント戦で決勝戦まで実施できなかったときは、得失点差で順位をつける。

・順位に応じた賞状を授与する。

・決勝戦終了後、コートにて閉会式（表彰式）を行う。

6 その他

(1) 審判員は、青森県軟式野球連盟青森支部に依頼する。

(2) 試合終了後は速やかにベンチを空けること。前の試合のチームが退席した後であれば、次の試合のチームが競技エリア内へ入ることを認める。

(3) チーム数や進行によっては、練習時間や試合時間を変更することも有り得る。

【フットソフトボール専門部主管校】

青森県立八戸高等支援学校

委員長 小松崎 弦

TEL 0178-32-2854

FAX 0178-32-2857

E-Mail 2020ases011@gmail.com